

日大民青とC自諸君

学外逃亡せず公開の場での 大衆討論にして!! (28日正午) (C図書館前)

すべての学生の皆さん、日大第一年生、おおむね10月24日のデッサン上野「自治委員会」が、それをはねじりこむる多くの豊友の抗議によって中断されるが、今度は総経主案外く光正企業会館へ逃亡せんと自説される。されども、一部のシンパ層と良心的な自治委員を除いては、大衆の目から逃れようとする彼らの運動を断固として封死し、このようすは監査的の場で形式的な民主制は變つてはなく、公然と大衆の前にてC図書館前に自治委員会について討論を行うことを複数ある。

そもそも10月24日の「豊田事件」といわれるものが、ニセC「自」が、我々の再三の公開の場での討論の所が計算に全く答えることなく、本走手、デッサン上野である「自由奔放社を前提として、強制的に自治委員会を行わんとした結果、追及し、既成事実の錯乱を、居直りをつけることを許さない」という観点から行なったものである。

彼らは常にニセC「自諸君に自治会運動についての討論を許さない」とした。しかし、彼らは自分たちと対立する潮流に対しては、「豊田學生」のしゃべりまはり、「豊田學生」とは話す必要がないといつて、そのたぐいの討論は許してきた。それゆえ我々は「自治委員会」を公開せんと、徹底して反対せざるを得ないのである。

彼らは10月24の事態について更名入りビラによると、自分たちの罪状をおおいからすキャンペーンを行なっている。自治委員会の席位を我々は阻止するため、ビラ等の更に行使や、彼らが理学部BPI教室内逃亡しようとしたため、它自代表なる人物を追及したことは共にある。

しかし、解説を以て事件にはならぬことは、彼らの公開

も推測する所であり、さらに「吉田寅のすり川にみに付する学生群衆のテント撤去のために起きた警察暴力にどう見えてよいといわればばかりに撤去散らした裏名入りビラとは無いだろうか。この2つは自治会運動の基本から大きく脱線するものであり、斯じて詳しきはならば

とも本デッサン上野においては、26日この2点について、階級正をうとしたところ《お前らと話す必要はない》、《報酬が貰まる》などと口走るだけ、一切まとめて言えようとしなかつた。

且其一詳青は、前項や「全学連樹闘紙」に掲載せたばかりに自治会をデッサン上野ひきおけたのは止めよ! 学外へ逃亡した安に見えまい所と密室議論を行うのがほしく、10月26(水)C図書館前に於いて公開討論を設定するから、その場に出でさい。出でこなれ時は、大衆的に君たちの路線が破産したことを宣言するに等しいことを覚悟せよ。

また多くの豊田諸君、とりわけ10月24にむけてまじめに討論を積み重ねてきた自治委員の諸君、10月28日の公開討論会に参加され、形式的な制限なく自治会運動について討論することにより、共に自治の発展と模索していこうではないか。

全学 同学会 自治会